

「食の支援」によるつながりのある地域づくりのために

フードバンク フォーラム

新型コロナによるパンデミックの背景には、それ以前からの保険医療サービスの民営化、医療資源や人員の削減による医療崩壊など、新自由主義に基づく「自助」、「自己責任」という言葉の下で拡大してきた「格差・貧困」の社会状況があります。

わたしたちは、誰かの犠牲や排除によって成り立つ社会ではなく、人と人がつながり、たすけあえる地域社会を希求します。フードバンクの活動を通じて、今、私たちの社会にはどのような課題があり、地域ではどんな取り組みが行われているかをシェアし合い、これからの活動に活かしていきたいと思います。

2022年2月28日(月) 14:00~16:30

新横浜スペースオルタ(オルタ館 B1F)

オンライン・オフライン併用



← オンライン参加申込はこちらから。企画前日までに入室用 URL をご連絡します。

●第1部 基調講演(オンライン) 14:05~15:05

演題: **フードバンク、子ども食堂、つながりのある地域づくり**

講師: **湯浅誠さん Makoto YUASA**



社会活動家。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長。

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。2014~2019年まで法政大学教授。

著書に、『つながり続ける 子ども食堂』(中央公論社 2021年)、『子どもが増えた! 人口増・税収増の自治体経営』(泉房穂氏との共著、光文社新書 2019年)、『なんとかする! 子どもの貧困』(角川新書 2017年)など多数。

●第2部 フードバンクかながわ、各地域からの報告 15:05~16:25

1.(公社)フードバンクかながわの取り組み報告

報告: 荻原妙子 (フードバンクかながわスタッフ/かながわ生き生き市民基金地域連携コーディネーター)

2.各地域からの取り組み報告

報告: 各地域生協共済たすけあい委員、および地域で食の支援に取り組む団体からのアピール

主催:生活クラブ生活協同組合 ユニオン理事会

共催:ユニオン共済・たすけあい委員会

サステイナブルなひと、
生活クラブ

■お問い合わせ先
たすけあいネットワーク事業部

045-472-8101

(月~金・祝 9時~17時)